

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理  
送信日時: 2022年2月21日月曜日 20:16  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH:248] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年2月21日発行

---

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年2月21日発行

---

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

---

### 【CONTENTS】

---

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

【2】ものづくり文化再発見！ウォーキング（一宮）が開催されます【New】

【3】中部産遺研会報 2022年3月見学会のご案内【再送】

---

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

---

●第171回定例研究会・見学会

2022年3月20日（日）13:30～16:00（現地集合・現地解散）

見学先：国登録有形文化財 旧山繁商店（愛知県瀬戸市仲切町・深川町）

交通：名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅から徒歩（瀬戸蔵ミュージアムから北へ徒歩10分ほど）

（地下鉄藤が丘駅前から尾張瀬戸駅までは名鉄バスがあります）

自動車の場合は瀬戸蔵ミュージアムに1時間まで無料の駐車場があります。

ホームページ：<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2017092600030/>

【3月6日頃に改めて開催するか中止するかを判断し、皆様にご連絡します】

●第30回総会・第172回定例研究会

2022年5月22日（日）予定・会場未定

●パネル展 2022年8月23日（火）～2022年9月11日（日）

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回 2022年6月頃（予定）

---

## 【2】ものづくり文化再発見！ウォーキング（一宮）が開催されます【New】

---

ものづくり文化再発見！ウォーキング（一宮）が以下の通り開催されますのでご案内いたします。

- ・開催日：3月5日（土）9:30～11:00 受付後、順次出発
- ・会場：尾張一宮駅前ビル（i-ビル）3F シビックテラス
- ・参加費：お一人様 大人 500円、小・中学生 無料（保護者同伴）
- ・コース：9km、3時間（見学時間を含めると、さらに+約1時間）
- ・特徴：毛織物に関連した箇所を多数見学できます。
  - 国島(株)（1850年創業）、  
<https://www.kunishima.co.jp/>
  - のこぎり二（会員の岩井さんが、一宮市博物館学芸員として説明）、  
<https://www.138ss.com/spot/detail/191>
  - 豊島記念館（毛織物の織機などを展示、学芸員の説明）、  
<https://www.138ss.com/spot/detail/174/>
  - Re-TAiL（1933年、近代化遺産のスクラッチビル）など  
<https://www.138ss.com/spot/detail/2/>
- ・2009年に始まった「ものづくり文化再発見！ウォーキング」は、今回が最後になります。
- ・詳細&申し込みはこちらから：<http://www.kernel.co.jp/walking/>

---

## 【3】中部産遺研会報 2022年3月見学会のご案内【再送】

---

中部産業遺産研究会では、下記の通り愛知県瀬戸市にて見学会を計画しております。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、中止する可能性があります。現在、愛知県は「まん延防止等重点措置期間」にありますが、これが終了する3月6日頃に改めて実施するか中止するかの判断し、皆様にご連絡します。

見学会を実施する場合、以下の通りといたします。

中部産業遺産研究会 2022年3月見学会

◆日時：2022.3.20（日）午後1時30分～4時 現地集合

◆場所：旧山繁商店（瀬戸市仲切町・深川町）

◆見学対象物件：国登録文化財 離れ（明治22年）、事務所（昭和22年）、旧事務所（大正年）、土蔵（明治36年）、新小屋（大正3年）、前倉庫（昭和初期）、中倉庫（昭和22年）、奥倉庫（昭和25年）、塀（明治中期）

◆案内解説：2時間程瀬戸市文化課課長補佐兼文化財係長 佐野 元氏ら予定

◆見学の目的：旧山繁商店は2015年（平成27）年11月17日に国登録文化財に登録されたが、市の保存の予算が付かないままで推移している。文化財課は市民や各団体から保存と活用のアイデアなどを集めるために見学会を開いている。研究会としても見学して保存活用の知恵や全国各地の先進事例などを提言して文化財課や地元が動けることに協力してはどうかと考える。当日見学者から保存活用のアイデア、全国の先進事例の紹介、財政活動の提案など意見感想を多く寄せてくれることを文化財課は期待している。

◆見学の見どころ：旧山繁商店は、明治、大正、昭和にかけて建築されているので、3代にかけての建築構造を見ることができる。三代繁太郎逝去後、建造物が登録文化財となり、陶磁器卸問屋商品、絵付け加工工場などがそのまま残されている。山繁商店の場所は、瀬戸蔵ミュージアムから北へ徒歩10分ほどのところにあり、周辺には丸一国府商店、古民家久米邸、無風庵、新世紀工芸館などがある。

◆沿革など：1885（明治18）年初代加藤繁太郎は陶磁器卸問屋「山繁陶磁器商店」を起業。繁太郎は明治20～30年代の瀬栄組、本業合資会社、瀬戸銀行、瀬戸自動車（株）の設立に関与。明治34～36年には北海道樺太から九州大分まで全国各地の取引記録が帳簿に残る。明治38年「瀬戸の陶業」に北新谷地区の「巨工富商」としてされ、瀬戸屈指の陶磁器卸問屋となる。大正7年東京に丸寿商店を開設。昭和14年中国上海に支店を開設。昭和18～20年軍需用ネジなど生産。戦後昭和21年陶磁器卸売業を再開、東京丸寿商店を山繁東京出張所として、南洋向け貿易陶磁器の加工完成業を行う。昭和25年に絵付け加工場を増設し企業成長を成し遂げた。同38年三代繁太郎が瀬戸市長に当選。2006（平成18）年逝去。

◆駐車場は山繁商店の南に空き地があり5～6台しか止められない。道が細く大変判りにくい。瀬戸蔵ミュージアムは1時間無料で有料の駐車場があります。

◆旧山繁商店は瀬戸市のホームページからも見る事が出来ます。参考にして下さい。のんびりじっくりせとマップ「歴史ある建物を巡るコース」は次のリンクにあります。

歴史ある建物を巡るコース－表紙・裏表紙

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/ed1cabbcbfd9ff3783e02e5f52cb060a.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－近代瀬戸の風景

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/e3c0b7f6a6340f31a334f926c3be84a7.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－関連文化財

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2019/04/d82a36d3db3aef370499b6d1a35e951d.pdf>

歴史ある建物を巡るコース－マップ

<http://seto-guide.jp/wp-content/uploads/2018/05/bbe89072e58b6f3d28370247cef9c74e.pdf>

◆当日尾張瀬戸駅で 12:30～13:10 研究会の旗を持って大橋副会長が案内します。

--



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 広報幹事

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> Copyright The Chubu Society For The Industrial Heritage.



---

このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには

[csih+unsubscribe@googlegroups.com](mailto:csih+unsubscribe@googlegroups.com) にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/001101d82714%2465e70de0%2431b529a0%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。